

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	スポーツ実習 2
科目基礎情報					
開設学科	建築設計科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	実習
教科書/教材	必要な道具等は授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	山田 盛久 他			実務経験の有無・職種	無
学習目的					
この科目を受講する学生は、スポーツを実施することを通じて、建築業界で働く社会人として健康な心身を育むことを目的とする。またチームプレイを通じて、相手を思いやる気持ち、共同で力を合わせ目標を達成する喜びを体験的に学ぶことを目的とする。そして、社会でもとめられるコミュニケーション力を身につけた人材となっていく狙いもある。					
到達目標					
この科目では、学生が日常の勉強から離れ、のびのびと体を動かして運動し、健康な心身を育むことを目標とする。また、社会に出てから活動するために必要なコミュニケーション能力や、仲間と力を合わせて目的を達成していくチームプレイの精神を育むことを目標とする。各自が自分の長所と短所、他者の長所と短所を補い合い、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、様々なスポーツの実習を行う。心身を開放し各自の運動能力を充分に発揮するとともに、仲間とのチームプレイを通じて、コミュニケーション能力やマナーを身につけ、就活に対するスキルを高めることを目指す。互いに安全に気を付け、他者を思いやる気持ちを育みカバール合うことは、建築の仕事の現場では大変重要な要素となることを体験的に理解する。				
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。スポーツへの不参加や無気力な受講態度などには厳しく対応する。怪我のないように充分注意してプレイする。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーでスポーツに参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は不合格とする。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレイ	70%	各スポーツにおけるプレイ内容を評価する		
	出席状況	20%	時間を守り授業の取り組み度合いを評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～4回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	卓球		体育館にて「卓球」の基礎トレーニング・試合		
2回	ドッジボール		体育館にて「ドッジボール」の基礎トレーニング・試合		
3回	バスケットボール		体育館にて「バスケットボール」の基礎トレーニング・試合		
4回	フットサル		体育館にて「フットサル」の基礎トレーニング・試合		